



KUZUU

ROTARY CLUB NEWS

例会日 毎週火曜日
 例会場 栃才オガノ内 2F
 栃木県佐野市葛生西
 1-3-34
 TEL 0283(85)4451

012~2013
 RI 会長テ-7

「奉仕を通じて平和を」 田中作次

「元気をだして 声をだして」 八下田幸三

葛生 RC 会長テ-7

副会長 須藤功一

幹事 駒形忠晴

副幹事 齋藤孝之

2012~2013 第 2536 回 25.5.28 例会場 於：(株)オガノ内 2F PM 12:30~

葛生RC ホームページアドレス <http://www1.ocn.ne.jp/~kuzuu-rc/> メールアドレス kuzuu-rc@luck.ocn.ne.jp

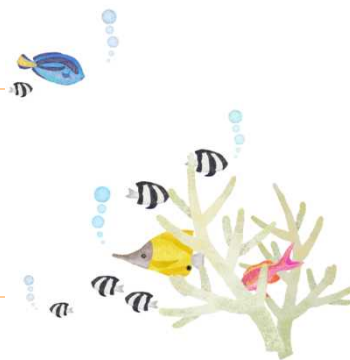
会長挨拶

来たる 7 月 21 日は参院選の投票日になるようです。橋本 徹大阪市長の発言から始まった今回の「慰安婦騒動」で「維新の会」と「みんなの党」が選挙協力を解消となってしまいました。渡辺 喜美先生の選挙目当のスタンドプレーと言われていました。自民党の一人勝ちがますます加速していくという感じです。でも、どこの政党が野党第一党になるのか、どこの野党が勢力を伸ばすのかが心配です。

代議士と言われる先生方が、憲法改正(第 96 条よりも第 9 条)、統治のありよう(二院制が一院制)、選挙制度の改革等、国の根幹にかかわることに真摯に討論できなければ明日の日本はないと国民誰もが実感としてしていると思います。

幹事報告

1. 田沼・佐野 RC より週報が届いています。
2. フランス GSE チームが、明日佐野に到着いたします。
3. 例会終了後、理事会が行われます。



次年度地区協議会報告

【新世代奉仕委員会】 片柳克敏会員

03.4.1 作新大学において次年度地区協議会が行われました。
 新世代奉仕委員長に馬頭・小川ロータークラブから経験豊かな白相さんが就任し、インターアクト委員会は宇都宮ロータリクラブの熊本さんが委員長になりました。先にお世話になった二十二さんが 3 年を区切りに交代いたしました。また鈴木ガバナーがカウンセラーになりなお一層の活動を活発に行うことを話されました。



青少年交換委員会・RYL 委員会・地区ローターアクト委員会・インターア外委員会の 4 つの委員会から構成されていますが、特にインターアクトについて報告いたします。

次の 2 つを重点項目として活動する予定とのことです

- ① 各グループに 1 つ以上のインターアクトクラブを提唱する。
- ② 各新世代委員会相互の連帯を深め共同のプログラムを実施する。

(県北)黒磯・宇都宮・(県南)栃木・足利・佐野から 15 校直近では宇都宮女子高白百合クラブ・が 2012.10.30 誕生していますが佐野地区でも青藍泰斗高校に次ぐ新しいインターアクトクラブの誕生が望まれます。
クラブ員総勢 425 名が参加しています。



2013-14 年度の主な事業としては次の 3 項目です

- ① 海外研修
- ② インターアクト年次大会
- ③ 足尾の植樹体験

以上を予定し各クラブ協力し合い活性化に努めよう
とのことでした。

残りの時間は台湾海外研修の映写とおいしい食事でした。

【地域・社会奉仕委員会】 奥山國之会員

出席者数 約 70 名 大半のクラブが 2 名出席
会議主宰者名 カウンセラー 近藤隆亮 PG
地区地域社会奉仕委員長 中島恭三
同 国際社会奉仕委員長 設楽厚夫
同 国内社会奉仕委員長 瀬野公男



先ず、近藤カウンセラーより、次年度から導入される、新地区補助金とグローバル補助金の原資について 配分率や方法等について説明がありましたが、明解な回答ではなく理解は不能でした。しかし、3 年前の財団寄付金のシェアは今までと同様の方式です。そして、この DDF {地区活動資金}はこの 2 つのプロジェクトに殆ど使われ、GSE と国際親善奨学金制度は地区としてのプログラムは廃止となります。

本会議では、ほとんどをこの 2 つの補助金プロジェクトの説明とそれへのチャレンジを訴えていました。

国内社会奉仕としては、新地区補助金プログラムのターゲットと考えられる「東日本大震災被災地復興支援」の具体例の発表が 2~3 のクラブから述べられました。補助金の流れは立案、申請後 1 年を要して実行されます。

国際社会奉仕では、グローバル補助金の実施要件等の説明がありました。これらは、地区の判断で採否が決まることは前進ですが、以下の 6 つの重点分野をクリアしないと対象となりません。①平和と紛争予防/紛争解決 ②疾病予防と治療 ③水と衛生設備 ④母子と家庭 ⑤基本的教育と識字率の向上 ⑥経済と地域社会発展

補助金額は大きく、1 件当たり 3 万ドル以上、但し パートナーが必要で、財団のバックアップで、戦略パートナーとの提携でプロジェクトが実現可能となります。



1. ポリオのない世界

- これまでに 12 億ドル
- その結果、野生型ポリオについてはほぼ撲滅。2014 年に完了予定。
- 完全撲滅をめざして、今後 3 年間で 7,500 万ドル目標。

2. 未来の夢計画

ロータリー財団の次の 100 年に向けて大きく改革しようということで新しいビジョンを立ち上げた。それが未来の夢計画で次の 5 つの目的をかかげる。

①プログラムの簡素化

新地区補助金、グローバル補助金、パッケージグラントの 3 つに集約 GSE(VTT)奨学金もすべてこの中に組み込まれる。

ただし、ポリオと平和フェローは従来通り。

②ロータリーの世界的な影響を高める為、

最大の成果が期待出来る奉仕活動に焦点をしぼる

6 つの重点分野を設定して、それをグローバル補助金として実践しようというもの。グローバル補助金は、財団が最も力を入れているプログラムで、最低 3 万ドル以上の持続性のある大きなプロジェクトで、その成果が測定可能なもの。

③全世界及び地元の両方の活動を支援する

これまで各クラブでやってきた身近な奉仕活動もおろそかにしないということで、その部分を新地区補助金で受け持つ。財団の使命に添ったものであれば、地元のもしくは海外で使用でき、必ずしも 6 つの重点分野に関連している必要はない。

④地区クラブとの意思決定権を移す事で

財団が自分達のものであるとう自覚を高める

財団とクラブとの距離を縮めようというのがねらい。

⑤ロータリーの公共イメージを高める

より規模の大きいプロジェクトにより公共イメージが

高まることで、結果的に会員の増強、寄付金の増額につなげたい。



3. 創造的パートナーシップ

- パッケージグラントのこと

財団が協力組織と提携して大規模なプロジェクトを立案、それをクラブと協力組織パートナーとして実施してもらうもので、資金は全額 WF から。

- 協力組織団体

アガカーン大学・オイコクレジット・マーシーシップス



4. 自分たちの財団であるという意識を高める

- 今まで 3 年前の年次基金と恒久基金の運用益の 20%が補助金として還元、それが 80%に拡大。

- グローバル補助金はクラブと財団が直接つながる仕組みに変革。

- 地区とクラブに意思決定権を移すことで、財団が、より身近なものとして自分たちのものであるという自覚を高める。



出席状況報告



中田秀昭委員長

本日の出席	会員数	義務出席者数	欠席数	事前メール	出席率
	33名	23名	5名	2名	84.8%
本日の欠席者	大嶋 立川 坪内 藤井 本島会員				
前回の出席 (修正)	前例会日	欠席数	事前メール	修正出席率	
	5/21	7名	0名	78.8%	

欠席の連絡

- ・アシスタント 関塚 TEL **84-1032** (サムディー)
- ・例会場 (当日連絡の場合) TEL **85-4451**

ニコニコBOX報告

奥澤委員長

八下田幸三君

5/30「食事会」よろしくお願いします。

田澤 秀文君

先日、所要で台北の北投(Beitou)温泉に行って、一晩ゆったりと白濁湯に浸り、久しぶりに空の境地に。近くに日本の加賀屋もありましたが、今回、宿泊したホテルは、かなり上等なものという印象で、シックな欧州的情緒のなかで日本的な洗練されたもてなしを受け、アジアの温泉も馬鹿にしたものではないなど見直した次第です。

ちなみに、今日は妻の誕生日で、今頃、お花が届いているのではと思います。今年は、会長のメッセージが入っていなければ、これで済ましてしまおうかな。一応、クイッシュンマークですが。

会報委員会 委員長 中田英昭 副委員長 塩島達人 委員 関口文雄

